



# 美唄

B i b o i

## 日本一小さな歯会に空前なことが

新年度を迎えて美唄歯科医師会は3年前に大きく若返った宝崎新会長のもと立派に一期を終え、二期目も全役員留任で再選ということになりました。

道歯会の第1回目の代議員会に第1号議案として「代議員会議長および副議長選出に関する件」が上程され、新代議員中最高齢者が仮議長として新議長および新副議長の選出を取り仕切る慣例が道歯会にはあるので、美唄選出の宝崎会長が最高齢者のため仮議長となり、三嶋岩歯会長が議長に、龍方省二代議員が賛成多数で副議長に選出される

までの代議員会を見事に無事まっとうされました。

道歯科医師国保組合も道歯会代議員会と同じように6月3日開催の新年度の第1回組合会で、第1号議案として、議長・副議長の選挙の件が上程され、道歯会選挙規程に則って正副議長の決定まで新組合会議員の最高齢者が仮議長として第1回議案の選挙を取り仕切ることになり、凶らずも美唄選出のかくいう雨田組合会議長が最高齢者ということ仮議長に指名されました。

道内では元より最小であり、日本でも多分最小の美唄歯会から仮議長が同年に2名共指名を受けることは美唄としては空前のことで、あえて絶後とはいわないが、珍しいことに変わりはないが、ただ喜んでよいのかとなると複雑な気持ちが先に立って、とても男盛りが七、八拾などという気持ちにはなれないのがいつものないところです。

(雨田 実記)

